

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 166 (通算 464 回)

2010 年 6 月 18 日(金)

「つぶやき」ネットワークの検証と活用——

ソーシャルメディアの最前線と大学広報

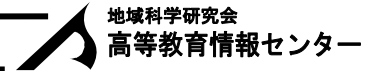
～Twitter(ツイッター)の特性と留意点/取り組み事例/今後の戦略的活用を考える～

- ※ [基調講義] モバイルとソーシャルメディアの現在/Twitter の特性とその活用事例
- ※ [調査報告] 大学の Twitter への関心・期待/導入の実際/職員・教員の利用状況は
- ※ [ディスカッション] 担当者に聞く運用の実際/効果をどう測る/今後への期待

● 講師 & パネリスト陣 ●

- 松村 太郎 氏 / IT ジャーナル・コラムニスト
慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員/嘉悦大学非常勤講師
- 濱田 努 氏 / (学)五島育英会 法人事務局 総務部 広報調査課長
- 木田 英樹 氏 / (学)立教学院 企画部 広報課
- 小端 康弘 氏 / 敬和学園大学 総務課企画・広報係長
- 山本 修裕 / 地域科学研究会 高等教育情報センター 研究員

2010 年 6 月 18 日(金) 剛堂会館 会議室 (東京・麹町)



日 時 : 2010 年 6 月 18 日(金) 13:00~16:50
 会 場 : 剛堂会館(明治薬科大学)会議室 (東京・麹町)
 東京都千代田区紀尾井町 3-27
 03(3292)3111

アクセス: JR「お茶の水」駅徒歩 3 分/東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 B1 出口 徒歩 3 分
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名 (資料代込) 41,000 円 (消費税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 42,000 円 (送料、消費税込)

※参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 全ての口座名<(株)地域科学研究会>
 ※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申 込 先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel: 03(3234)1231/Fax: 03(3234)4993
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

☆FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 166
 ソーシャルメディアの最前線と大学広報

2010 年 月 日
 当日参加 メディア参加
 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

〈通信欄〉支払方法 (郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類 [請求書 見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

基調講義

13:00 ~ 14:20	<p>□ ソーシャルメディアの進化とTwitterの可能性 ～モバイルとソーシャルネットワークの現在／Twitterの特性とその活用～ ITジャーナル・コラムニスト 松村 太郎</p> <p>1. モバイルの最前線とソーシャルメディア (1) スマートフォンの発達と普及 (2) ソーシャルメディアの現在</p> <p>2. Twitterがもたらしたもの (1) つぶやきとロコミの力 (2) Twitter利用の成功と失敗、幾つかのエピソードから</p> <p>3. 大学講師として…大学・大学生とモバイルメディア、Twitter (1) 講義でTwitterを使ってみた (2) 大学・大学生にとってのケータイとソーシャルメディア <質疑応答></p>
---------------------	--

14:30 ~ 15:00	<p>□ [KKJ調査報告] 大学のTwitter利用に関する実態と意向 地域科学研究会 山本 修裕</p> <p>1. 各大学に向けた調査 (1) アカウントの開設、運用に対する考え方 (2) 実際の取り組み事例 (3) 職員、教員の利用実態の把握について</p> <p>2. 大学職員・教員を対象とした調査 (1) 一個人としてのTwitter利用の目的と実際 (2) 大学としての利用をどう考える <質疑応答></p>
---------------------	---

パネル討論

15:10 ~ 16:50	<p>つぶやき担当者に聞くTwitterの多様な運用事例</p> <p>□ [東京都市大学グループ] 国内初の「公式アカウント宣言」／総合学園としてのTwitter参戦 (学)五島育英会 濱田 努</p> <p>1. Twitter導入と公式アカウント採用の理由 (1) 公式アカウント取得の背景 (2) 考え方と使い方</p> <p>2. 多様なツールを展開する狙い (1) 広報担当者としてのバランス感覚とアンテナ (2) 動かなければ始まらない</p> <p>□ [(学)立教学院] ただいま「試験運用中」、担当者による運用の実際 (学)立教学院 木田 英樹</p> <p>1. アカウント開設の経緯と今日 (1) 広報アカウント開設に至るまで (2) なぜ「試験運用」なのか?</p> <p>2. つぶやき担当者として (1) 日々の書き込み、その裁量 (2) 書き込みのコンセプト</p> <p>3. 運用面の課題と今後のテーマ</p> <p>□ [敬和学園大] 教務アカウント⇔大学アカウントの2本柱、それぞれのつぶやき 敬和学園大学 小端 康弘</p> <p>1. アカウント運用に至るまで (1) 学内掲示板、学生向けWebページの限界 (2) 授業でのTwitterの活用と利用学生の増加</p> <p>2. 教務、広報の2つのアカウント (1) 休講や補講、緊急時のお知らせをする教務アカウント (2) 地域と大学をつなぐ大学アカウント</p> <p>3. つぶやき担当者としての手応えと課題</p> <hr/> <p>□ [ディスカッション] 運用担当者の本音と実際／戦略的活用を考える／会場の参加者より</p> <p>○パネリスト</p> <p>濱田 努 氏 / (学)五島育英会 法人事務局 総務部 広報調査課長</p> <p>木田 英樹 氏 / (学)立教学院 企画部 広報課</p> <p>小端 康弘 氏 / 敬和学園大学 総務課企画・広報係長</p> <p>松村 太郎 氏 / ITジャーナル・コラムニスト 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員／嘉悦大学非常勤講師</p> <p>○司会 山本 修裕 / 地域科学研究会 高等教育情報センター 研究員 <質疑応答></p>
---------------------	--